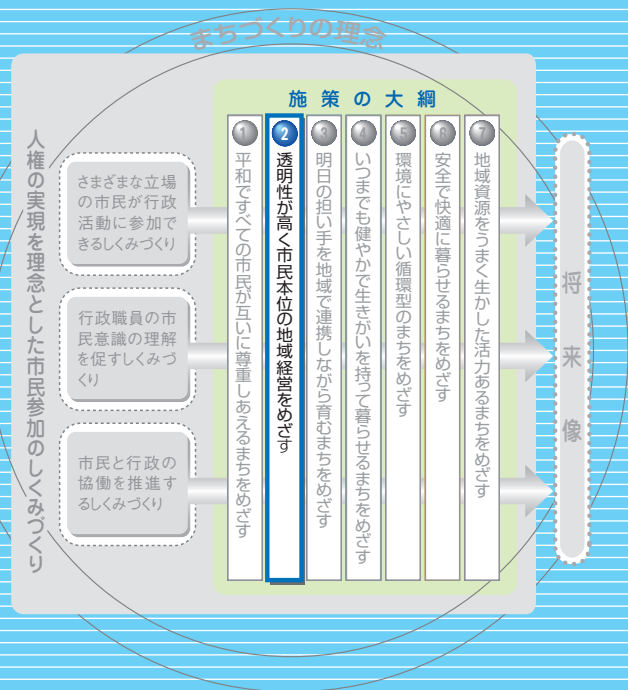


第2章 施策の大綱

第2節

透明性が高く 市民本位の 地域経営をめざす



1 情報公開の推進

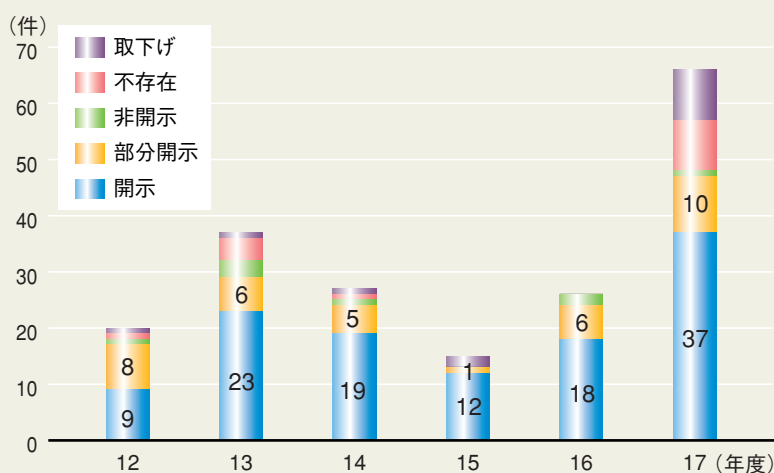
■ 時代潮流と背景

- インターネットの普及により、だれもが手軽に多種多様な情報を入手できるようになっています。
- 市民の知る権利や行政の説明責任が重要視されるようになっていきます。
- 個人情報の流出が社会問題化するなど、個人情報保護への対応が求められている一方で、必要とされる個人情報の提供までもが行われないなど、過剰反応と言われる状況も一部に見られます。

■ 富田市の現状と課題

- 行政情報を一括して提供する情報公開窓口を設置し、市民への情報公開の充実に取り組んでいます。
- インターネットによる市ウェブサイト^{*1}を、より利用しやすく更新するとともに、まちの情報を視覚的に提供する地理情報サイトを新たに公開しました。
- 行政の市民への説明責任を果たし、市民との協働関係を推進するために、より一層の情報公開を行います。
- 個人情報については、その有用性に配慮しつつ、個人の権利利益を適切に保護するため、十分なセキュリティ対策を行う必要があります。

情報開示件数



※1 インターネットに公開された関連付けられたページの集まりをウェブサイトという。その入り口となるトップページをホームページと呼ぶ。

方向と目標

<方 向>

- 多様な手段で、さまざまな情報を積極的に提供し、市民と行政の双方向でまちづくりに活かせる環境を整えます。

<目 標>

- より多くの行政情報がわかりやすく整理され積極的に提供されているとともに、市民が地域の情報を共有できる環境が整っています。
- 情報セキュリティが徹底され、ネットワークの安全の確保や個人情報が適切に管理されているとともに、緊急時などにおいて個人の生命や財産を守るために活用できるしくみが整っています。

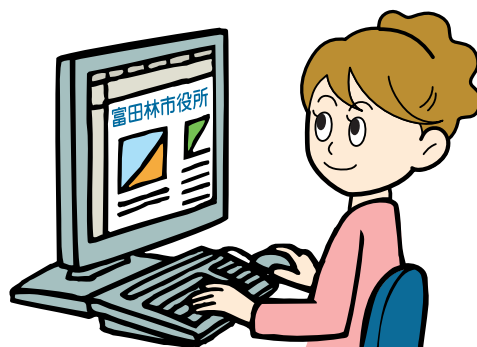
目標を実現するための施策

① 情報公開の推進

- 市民生活に必要な情報をはじめ、行政の透明性の確保や説明責任のための情報など、さまざまな情報を提供します。

② 情報化を活かしたまちづくり

- インターネットを利用した情報サービスの提供など、高度情報化社会に対応した、利便性の高い情報ネットワークの構築を推進します。



① 情報公開の推進

施策の現状

- 情報公開条例の制定や情報公開窓口の設置など環境を整備して、情報公開に積極的に取り組んでいます。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">行政情報などを市民が入手しやすい環境を整備し、わかりやすく、積極的に情報公開を進めます。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">市民に身近な公共施設において、行政情報にとどまらず、市民の知りたい情報の提供を行います。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">行政が保有するさまざまな情報を提供することで、地域活動の活性化を推進します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">地域のメディア^{※1}を積極的に活用し情報を提供します。地域の情報を収集し、市民に提供します。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">行政が保有する個人情報の取扱いについて適正な運用を図ります。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 媒体、手段。特にマスコミュニケーションの媒体。

② 情報化を活かしたまちづくり

施策の現状

- 地理情報システム（GIS）*¹を用いた地域の活性化に取り組み始めました。
- まちのさまざまな情報や風情をインターネットを利用して音声で伝えるウェブラジオを始めました。
- 図書館の蔵書の検索や予約、公共施設の予約など、インターネットを利用した市民サービスの提供を推進しています。
- 行政事務の情報化を推進し、効率的な行財政運営に努めています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">・市民参加や協働により地域社会を活性化するため、インターネットなどを活用した行政情報の提供を充実します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">・施設予約や申請など各種手続きの電子化を進め、市民の利便性の向上を図ります。・さまざまな行政事務の情報化と、電子市役所の推進を図るとともに、市民と行政の双方向で情報の活用をめざす新たな情報化計画を策定します。・セキュリティ対策を充実し、個人情報の漏洩を防ぎます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">・地理情報システムなど、地域活動を支援する環境を充実します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">・高度化する情報化に対応するため、社会教育施設などの既存の施設を活用した情報ネットワークの構築を進めます。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">・行政情報の共有化を図り、透明性のある行財政づくりを進めます。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

※1 地理的位置を手がかりに、電子地図と位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的にわかりやすい表現や地域分析などを迅速に処理する技術。



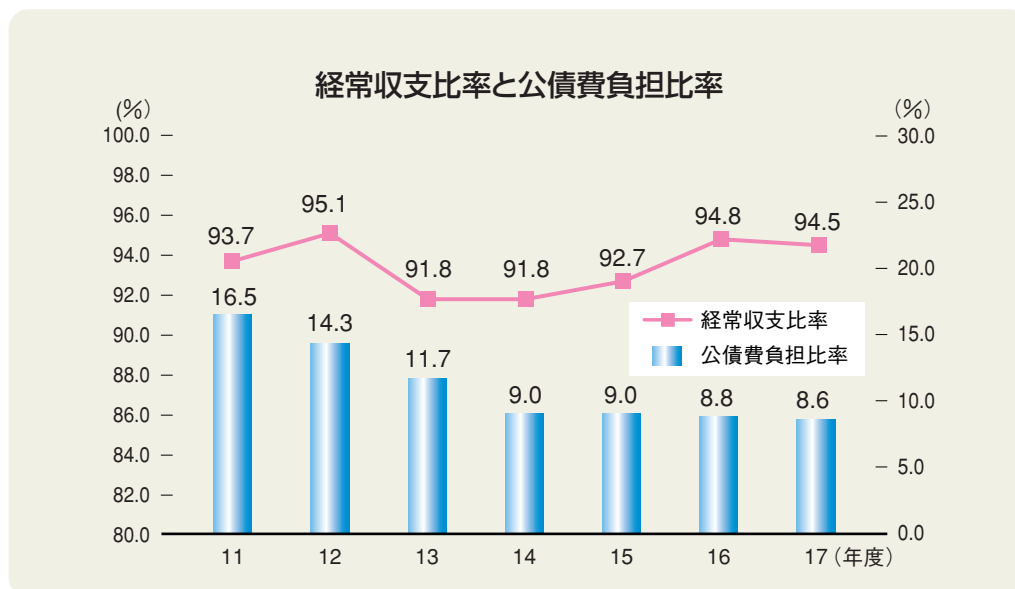
2 市民本位の行財政運営の推進

■ 時代潮流と背景

- ・ 国も地方も財政状況が悪化するなか、行財政基盤の強化と効率化は自治体としての喫緊の課題です。
- ・ 行政が担ってきた業務範囲を見直し、公と民の役割分担を再検討する事業仕分けが進められています。
- ・ 公会計制度の改革が検討され、また、PFI^{*1}や指定管理者制度^{*2}の新しい手法をはじめ、経営感覚を取り入れた効果的な行財政運営が求められています。

■ 富田林の現状と課題

- ・ 定数削減や外部委託の推進など、計画的に行財政改革への取組みを推進してきました。
- ・ 今後、地方交付税の見直しや補助金の削減など財源総量の一層の減少が予測されるとともに、福祉や医療、介護など社会保障費の歳出の増大が懸念され、財政は極めて厳しい状況になると思われます。
- ・ 歳出削減と歳入確保に努めるとともに、既存施設の有効利用や統廃合、民間活力の活用、行政の役割分担の見直し、周辺自治体との広域連携なども視野に入れながら、より一層行財政改革への取組みを進めていく必要があります。



経常収支比率 = (義務的な経常経費に充当する一般財源) / (経常的に歳入される一般財源)

公債費負担比率 = (債務償還に充当する償還金) / (経常的に歳入される一般財源)

※1 公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う、公共事業の新しい手法。

※2 地方公共団体や公共的団体などに限定していた公の施設の管理を、民間事業者などの団体も行うことができる制度。

方向と目標

<方 向>

- 厳しい財政状況のなかで、多様化する市民ニーズに応え、市民本位のまちづくりを進めるため、施策ごとに公共性の検討や行財政運営の見直しを進め、効率的かつ効果的な行政組織、体制を構築します。

<目 標>

- さまざまな課題に市民の目線で取り組んでいける行政組織と人材の育成の構築が進められ、市民の行政に対する信頼が高まっています。
- 効率的で効果的な行財政運営が進められ、健全な財政状況が維持されています。

目標を実現するための施策

① 行財政改革の推進

- 市民生活やまちづくりを支える持続力のある財政基盤を維持し、自立した自治体運営をめざし、財政の健全運営に取り組みます。
- 市民と行政の役割分担の見直しを推進します。
- 計画の策定、施策や事業の執行、評価など、市民にわかりやすい行財政運営を実現するしくみを整えます。

② 新しい時代を担う人材の育成

- 職務を行うために必要な知識や技能、教養などの向上を図り、時代に即応し市民感覚を持った信頼される職員の育成を図ります。

③ 適正な財産管理

- 老朽化が進む都市基盤や施設の補修、改修や耐震化を図るなど、財産の適切な維持管理に取り組みます。

① 行財政改革の推進

施策の現状

- 行財政改革のための集中改革プランを策定し、将来に向けた財政基盤の安定化に取り組んでいます。
- 市税などの徴収率の向上を図るため、新しい取組みとしてインターネット公売を実施しています。
- ウェブサイト広告など、新たな歳入を得るための取組みを行っています。
- 外部委託など事務事業の効率化や職員数の削減による人件費の抑制など、財政効率の向上に取り組んでいます。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 行財政運営における市民参加を推進します。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 各事業における目標を明確にし、適切な評価と見直しを進め、簡素でわかりやすい計画的な財政運営を図ります。• 市民ニーズに柔軟に対応できる組織づくりを進めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 市民の行政ニーズに的確に対応して、自立的な地域づくりを行うために、広域連携を進めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• さまざまな地域課題に対応できる知識や経験を豊富に備えている大学などの各種教育研究機関との連携を図ります。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">• 財政状況の情報をよりわかりやすく公開するなど、行財政の透明性を確保します。• 集中改革プランについては公共性を確保しつつ取組み、行財政運営の更なる効率化と財政基盤の安定化を図ります。• 限られた資源で効果的なまちづくりを進めるため、受益者負担の適正化を図ります。• 行政の業務の範囲の見直しを進めるとともに、効果的で効率的な執行と、市民サービスの向上を図るため、民営化や外部委託など民間活力の活用を推進します。• 新たな公会計制度や外部監査などについて検討します。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

② 新しい時代を担う人材の育成

施策の現状

- 市民に親しまれ信頼される行政をめざすため、人材育成基本方針に基づく職員の育成を行っています。
- 情報の共有化、研修などを実施し、新しい時代に対応する能力の向上に取り組んでいます。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 市民との協働意識や政策立案能力の向上を図ります。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 男女の性別間格差の解消に向けた人事管理を推進します。• 市民と連携、協働して施策を企画立案し、実行できる人材の育成を進めます。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• NPOや各種団体とともに学ぶ場を検討します。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• さまざまな地域資源を見通し、それらを積極的に生かせる人材の育成を進めます。• 専門的な課題に対応できる経験豊かな人材の活用を図ります。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">• 積極的な情報公開や説明責任を果せる人材の育成を進めます。• 長期的視野に基づく人材の育成など人事制度の確立を図ります。• 資格、能力や適性などを踏まえ、効果的な人事管理を図ります。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める

③ 適正な財産管理

施策の現状

- 老朽化が進んでいる公共施設を、必要に応じ維持、補修を行っています。
- 指定管理者制度により、民間活力を導入し施設の管理運営を行っています。

これからの施策

これからの施策	施策の行動指針
<ul style="list-style-type: none">• 市民の意見や提案を取り入れながら、市民の視点に立った施設の管理運営を行います。• 市民が利用しやすいように施設のバリアフリーを進めます。	市民が主役のまちを実現する
<ul style="list-style-type: none">• 各施設が効果的に利用できるように管理運営を行います。	市民ニーズに対応し横断的に進める
<ul style="list-style-type: none">• 老朽化の進む公共施設の補修、改修や耐震化への取組みを計画的に進めます。	地域のつながりを活かす
<ul style="list-style-type: none">• 既存施設の適正管理に努めるとともに統廃合や有効利用を進めます。	資源循環を推進する
<ul style="list-style-type: none">• 指定管理者制度などの民間活力の導入を施設ごとに検討し、効率的な管理運営を進めます。	透明性が高く効率的な行財政づくりを進める